

2011 年 6 月 1 日

■ビオトープフォーラム in 岡山 2011 の終了報告

報告：中・四国地区 竹信正敏、山本高広

さる、5 月 27 日(金曜日)、岡山市“ピュアリティまきび”において、「ビオトープを通して持続可能な地域づくり」をテーマとしたフォーラムを開催いたしました。当日は小雨が降る中、全国から約 120 名という多くの方々に参加いただきました。吉川協会会長の開催の挨拶に続き、お忙しい中ご出席いただいた来賓の方々を代表して横浜国立大学学長の鈴木邦雄先生からフォーラム開催の祝辞をいただきました。フォーラム第 1 部では、地元岡山理科大学学長の波田善夫先生の「湿原と湿原型ビオトープ」と題して、湿原再生のポイントと問題点などについての基調講演をいただき、協会の竹信正敏理事からは「自然の創出とその維持管理」と題して地域での取り組み事例を取り上げた講演がおこなわれました。

続いて、今年で第 3 回を迎えるビオトープ顕彰の表彰とその事例発表をおこなうフォーラム第 2 部に移り、まず顕彰委員会委員長の静岡大学名誉教授の杉山恵一先生より受賞対象となった事例の講評が述べられました。つづいて、大賞など各賞の表彰と受賞者の熱のこもった顕彰事例発表がおこなわれ、最後に、参加者全員が生物多様性を確保する重要性などを再確認し、岡山でのフォーラム 2011 を閉じました。



・吉川協会会長のフォーラム開催挨拶



■フォーラム第 1 部 基調講演と講演



■フォーラム第2部 ビオトープ顕彰受賞作品の表彰



■ビオトープ顕彰受賞作品の事例発表

